

議会運営委員会の視察

【日 程】

平成26年7月16日～18日

【視察地及び視察項目】

- ・釧路市 代表質問制・議会改革の取り組み（議会基本条例）
- ・根室市 代表質問制・通年議会
- ・網走市 代表質問制・委員会におけるインターネット中継



釧 路 市

【主な視察内容】

本市において導入を進めている代表質問制について、各市の状況（本会議の運営方法、発言者数、発言時間、非交渉会派の取り扱い等）を視察した。また、代表質問制に加え、釧路市では議会改革の

取り組み、根室市では通年議会の運営、網走市では常任委員会のインターネット中継について視察した。より市民に開かれた議会としていくために、本市における今後の議会運営に参考となった。

インドネシア・メダン市
姉妹都市締結25周年 議員2名を派遣

平成26年10月14日から18日まで、市川市公式代表団が、インドネシア・メダン市を訪問しました。市議会からは代表として松永鉄兵副議長、並木まさ議員を派遣しました。

メダン市は、スマトラ島最大の都市（人口約211万人）で、本市とは平成元年に姉妹都市を締結、市民親善交流、青少年交流等により友好を深めてきました。平成4年にはオランウータン2頭が寄贈され、市川市動植物園で会うことができます。



＜市川市使用料条例等の一部改正の修正内容＞

原案に対する修正議決の主な内容は、次のとおりです。

	H26 年度	H27 年度	H28 年度
	10/1	4/1	10/1
＜原 案＞	現行料金	新料金	
＜修正案＞			
貸室・集会施設、火葬場	現行料金	経過措置 引き上げ幅 1/2	新料金
その他	現行料金	新料金	

- 改正条例の施行日は、原案より6カ月遅らせ、平成27年4月1日としました。平成27年9月30日までは現行料金、10月1日から新料金が適用されます。
- ただし、以下の施設における市民等の使用料等は、平成27年10月1日から28年9月30日までの1年間、原案の新料金の引き上げ幅を1/2とする料金が適用されます（平成28年10月1日以降は原案どおりの新料金となります）。公民館、勤労福祉センター（分館を含む）、斎場の火葬料、市民談話室、男女共同参画センター、地域ふれあい館、アイ・リンクセンター、アイ・リンクタウン展望施設交流ラウンジ、急病診療・ふれあいセンター集会室
- その他、修正案では、増収分は全て施設の維持管理経費に充てること、今後策定される公の施設に関する総合的な計画と整合する使用料のあり方を検討し、その結果に基づき必要な措置を講ずる等の条項が置かれました。

＜市川市国民健康保険税条例の一部改正の修正内容＞

原案に対し、以下の均等割額を引き下げる旨、修正議決しました。

	現 行	原 案	修正案
国民健康保険の被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の被保険者均等割額	6,000 円	7,400 円	6,800 円
介護納付金課税被保険者に係る介護納付金課税額の被保険者均等割額	7,200 円	13,200 円	10,800 円

これに伴い、減額措置（7割軽減、5割軽減、2割軽減）の額も変更されます。

道 路 ・ 交 通

大野小学校入口交差点

早期整備が望まれる 進捗状況は
平成27年度の工事に向け取り組む

以前、事故に遭いそうになった経験に関するアンケートで南大野地区は上位となり、中でも大野小学校入口交差点が一番危険であるという結果が出ている。交差点の早期整備が望まれるところであるが、整備の進捗状況はどのようになっているか。

答 本交差点は丁字交差点に市道2本が斜めに交わる変則的な形状であり、交通の円滑化と安全上の観点から改良計画を進めている。計画は丁字交差点化を基本とし、平成25年度に実施設計を行い、現在は警察等の関係機関と協議している。信号機の設置を27年度に予定しており、工事実施に向け引き続き取り組んでいく。

中山幸紀議員（自由民主党）

市道0231号の安全確保

越川雅史議員（無所属・ネット）

賈谷橋交差点を南北に縦断する、国分交番と春木川に挟まれた市道0231号は、道路幅員が狭く歩道がないこと等から、歩行者の通行に危険がある。そこで、当面の対策として、歩行者の安全確保を図るため、交番西側の赤道を活用し、歩道として整備することを提案する。市の認識を問う。

答 現地調査の結果、当該市道は歩行者の安全が十分に確保されておらず、赤道の活用は有効な手法であると考えられる。そこで、交番を管理している市川警察署と赤道の整備につき協議を進めていく。平成26年10月中には、千葉県警本部との現地立ち会いも予定している。

国分交番西側の赤道を活用しては
市川警察署と協議を進めている

外環道路開通と交通変化

市独自でも交通量調査実施すべき
予測・評価を引き続き事業者要望

かつて大議員 民主・連合 社民

外環道路の開通で市内道路交通の変化が予想されるが、事業者が要望しているものの交通量予測がなかなか提示されない状況である。市民理解を得るには基礎となる数値を示すべきであり、その意味で市独自でも交通量調査を行う必要があると考える。市の見解を問う。

答 外環供用による周辺道路への影響については、平成25年7月、市内主要幹線道路や接続道路等の交通量の予測・評価の明示を含む要望書を提出した。国等は外環開通後の周辺道路の交通変化の対応にも引き続き取り組むとしており、市も引き続き交通量の予測・評価を事業者が要望していく。

市制施行80周年記念事業

「夏休み親子議場見学会」を実施しました！

平成26年7月31日（木）、8月1日（金）の2日間、市制施行80周年記念事業として、夏休み親子議場見学会を開催しました。各回とも募集定員を超えるご応募をいただき、両日合わせて約100名の親子のみなさんに参加していただきました。

集合後、議場では、子どもたちが議席に座って、市議会の概要について職員の説明を聞いたり（写真上）、クイズ形式で電子採決システムを体験しました。その後、委員会室（写真下）や議長室など、普段入ることのできない市議会の各施設を見学しました。

議場に戻った後は、子どもたちがそれぞれ考えてきたテーマについて議席から元気に発表しました。

約2時間の短い日程でしたが、市議会の雰囲気を実際に感じていただきました。

